



## 長野県 No. 1 のもも・ネクタリン産地を守ろう！

### ◆生育状況と当面する重点作業について

1. 収穫品種は、着色にとらわれず、熟度優先の収穫をする。  
(樹勢の弱い樹・核割れ果・変形果・枝の先端等は極端に収穫が早まるので注意する。)  
曇天降雨が続く場合は着色が遅れ、熟期が先行しやすいので注意する。
2. 各品種の除袋を適期(曇天降雨の場合は目安より早めに)に行う。
3. 収穫前防除と被害果除去により腐敗病・ミカンキイロアザミウマ防除対策を徹底する。
4. 過繁茂の樹体・新梢管理を適切に行う。
5. 曇天降雨により糖度が低く着色が薄いので収穫前管理を徹底する。  
配布されている「葉面散布肥料・特殊資材の使い方」を参考に葉面散布肥料を有効に活用する。
6. せん孔細菌病「夏型枝病斑」対策を徹底する。

### 【もも薬剤防除】

#### ◆第10回薬剤散布について(川中島白桃・黄金桃・極晩生種等)

1. 散布時期・・・7月15日(土)～19日(水) 《実際散布日記入 月 日》
2. 調 合 量・・・水1000 当り ※混用順に記載。

農薬名	使用量	対象病害虫	収穫前
展 着 剤	1 0mℓ	—	—
サムコルフロアブル 10	2 0mℓ	シンクイムシ類・ハマキムシ類・モモハモグリガ	前日まで
ベルコートフロアブル	5 0mℓ	灰星病・ホモプシス腐敗病	前日まで
(㊸ダイアジノン水和剤 34)	1 0 0 g	カイガラムシ類	前日まで

3. 散 布 量・・・10a当り ⇒ 500ℓ 以上
4. 留意事項
  - ①除袋前であれば、川中島白鳳・なつっこも上記の防除を実施する。  
除袋後の場合はこの第10回防除に代えて、別記の除袋後・着色始めの防除を実施する。
  - ②カイガラムシ類発生園は、もものみ、㊸ダイアジノン水和剤 34 を加用散布する。  
なお、ネクタリンは収穫 21 日前までの登録のため、農薬飛散しないよう十分注意する。

### 【ネクタリン薬剤防除】※もも・ネクタリン混植園

#### ◆第10回薬剤散布について (フレーバートップ・ファンタジア・秀峰)

フレーバートップ等も、収穫間際になる場合は、「除袋後・着色始め」、「収穫開始2日前」防除を実施する。

1. 散布時期・・・7月15日(土)～19日(水) 《実際散布日記入 月 日》
2. 調 合 量・・・水1000 当り ※混用順に記載。

農薬名	使用量	対象病害虫	収穫前
展 着 剤	1 0mℓ	—	—
サムコルフロアブル 10	2 0mℓ	シンクイムシ類・ハマキムシ類・モモハモグリガ	3 日前まで
ベルコートフロアブル	5 0mℓ	灰星病・ホモプシス腐敗病	前日まで

## 【もも・ネクタリン薬剤防除共通留意事項】

- 1) 無袋栽培は通常展着剤に代えて、機能性展着剤アプローチBIを 1,000 倍(水 100ℓ当り 100mℓ)で使用する。
- 2) 降雨が多い場合は果実腐敗病対策として、ベルコートフロアブルを 1,500 倍(水 100ℓ当り 66mℓ)で使用してもよい。
- 3) 収穫中の品種、ネクタリンの収穫直前の品種に、飛散しないよう十分注意する。

## ◆収穫中品種の腐敗病防止対策について(もも・ネクタリン共通)

被害果が樹上にあると降雨で被害が拡大するので、まずは圃場内の伝染源の除去を目的に、被害果を土中へ埋めるか圃場外へ持ち出す。

## ◆白鳳・あかつき・川中島白鳳等収穫について

手のひらによる弾力感や縫合線の張りぐあい、ももの香りなどを参考にして、糖度がのり熟期のきたものから収穫する。白鳳系の成熟は、千曲白鳳 ⇒ あかつき ⇒ 川中島白鳳⇒なつっここの順です。川中島白鳳・なつっこは、着色が良い品種のため若取りに特に注意したい。着色より、熟度に注意して収穫する！なお、一般的には、成熟期以前に、曇雨天が続くと果肉が先熟し、成熟日数が短くなり、高温乾燥が続くと成熟日数が長くなる。

## ◆除袋目安と管理について

生育状況に十分考慮しながら、(高温干ばつで生育は遅れ、曇天多雨で生育は進む)別記の日程を目安に地色の抜け具合を観察し適期に除袋作業を進める。

### 1. 除袋時の注意

- ①除袋が早すぎると、無袋のようになり、着色が遅れ、遅すぎると着色せず、軟化してしまうので、注意する。一般的な桃は、下記の図1を参考にし、白っぽく淡い緑色になる頃。果実全体の地色が抜けた状態では遅い。
- ②大玉から除袋を開始し、小玉や下枝・樹冠内部のものは上枝の除袋4～5日後に2～3回に分けて行う。最低でも上枝と下枝では生育差があるので2回程度に分けて除袋する。
- ③もも二重袋を使用したものは、3日程度早めに外袋のみ除袋する。
- ④除袋時に、曇雨天が続くような場合は、除袋時期の目安より、2日程度早めに始める。
- ⑤老木や樹勢の弱い樹は、数日早く除袋する。樹勢の強い樹は、除袋を遅らせる。

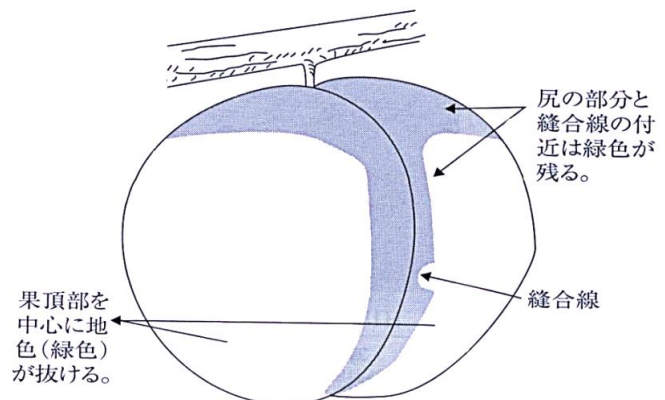


図1 果実の除袋目安

### 2. 着色管理

#### ①葉つみ

- ・着色ムラをなくすため果実を覆う葉を摘む。1果当たり5枚程度限度とし、摘み過ぎないように注意する。摘み過ぎは、着色・糖度等に悪影響を与える。

#### ②反射シート

- ・有袋品種は、除袋直後から使用する。無袋品種は収穫予定日10日前程度から使用する。
- ・川中島白鳳・なつっこ等着色の容易な品種は、日射の入る樹であれば、反射シートを敷かなくても十分着色する。敷いても、樹冠内部・下枝対応とし、数日で除去する。

- ・着色先行となるので、早採りになりやすいので、熟度をよくみて判断し、収穫する。  
長期に渡り、敷きっぱなしする事は、収穫初期に肌荒れ・日焼けの発生を助長する。  
特に着色がし易い、川中島白鳳・なつっこ等は注意する。

③支柱立て、誘引を行い樹内部に日の光が入るようにする。

3. 除袋時期の目安（あくまで目安です。）

品 種	時 期	目安の指標
川中島白鳳	7月中旬頃	<u>収穫4～7日前頃</u>
なつっこ	7月中下旬頃	<u>収穫7日前頃</u>

- ※目安の指標:着色が容易な品種ほど、除袋は遅め。困難な品種ほど早めとなる。
- ※生育がバラついている。また小玉傾向で地色の抜けが遅い。
- ※今後の気象条件・自園の状況・地色を確認しながら行う。
- ※収穫前の天候が干ばつ傾向で推移すると熟期が遅延する。使用している袋にもよるが、果実の状況によっては除袋時期が遅れてくる場合があるので注意する。

4. 薬剤防除 【もも・ネクタリン共通】

「除袋後」並びに「収穫開始2日前防除」を行う。

①有袋除袋後又は、無袋着色始め～収穫7日前の薬剤散布を必ず行う。

・調 合 量・・・水1000 当り ※混用順に記載。《実際散布日記入 月 日》

農薬名	使用量	対象病虫害	収穫前
ア プ ロ ー チ B I	1 0 0 mℓ	機能性展着剤	—
スクレアフロアブル	3 3 mℓ	灰星病・ホモプシス腐敗病	前日まで
アーデントフロアブル	5 0 mℓ	モモハモグリガ・ミカンキイロアザミウマ・シンクイムシ類・ハマキムシ類	前日まで

②収穫開始2日前防除の薬剤散布を行う。★降雨が多い場合は、非常に重要な防除。

・調 合 量・・・水1000 当り ※混用順に記載。《実際散布日記入 月 日》

農薬名	使用量	対象病虫害	収穫前
ア プ ロ ー チ B I	1 0 0 mℓ	機能性展着剤	—
オンリーワンフロアブル	5 0 mℓ	灰星病・ホモプシス腐敗病	前日まで
(デ ィ ア ナ W D G)	2 0 g	ミカンキイロアザミウマ・シンクイムシ類・ハマキムシ類	前日まで

5. 留意事項

①市場・量販店・お客様宅到着時での腐敗病防止の為、必ず散布して下さい。

灰星病・ホモプシス腐敗病・ミカンキイロアザミウマ・シンクイムシ等の被害果を出したら、築き上げてきた市場や贈答品の信用が著しく落ちしてしまうので、必ず散布する。

②「収穫前日」となっている農薬の使用時期は、収穫する24時間前までに散布が終わる事を意味する。

③果柄部へも丁寧に薬剤散布を行う。

④除袋直後(ほとんど果面に日照を受けない状態)は、薬害(褐色の流れサビ斑・縞状の着色不良)が出やすいので少なくとも1～2日程度は日照をあてて散布する。

⑤ミカンキイロアザミウマ・ハマキムシ類・シンクイムシ類の発生が心配される園は、『収穫開始2日前防除』にディアナWDG5,000 倍を加用散布する。

⑥薬剤が掛かるように、樹・枝に風通しが良いようにしておく。

⑦腐敗果を発見したら被害を拡大させないために、園外に持ち出すか除去し土中に埋める。

## ◆過繁茂の樹体・新梢管理について

1. まずは支柱立て・枝吊り・誘引で空間を作る。
2. 果実が2～3個成っていても、邪魔な立ち枝は切除する。
3. 大きな副梢がある強い新梢を切る。(徒長枝は早めに切っておく)

## ◆白鳳系並びにネクタリン収穫・出荷講習会開催について

下記の日程により講習会を開催しますので都合のよい会場で受講下さい。

※出荷講習会からが収穫始めではありません。適熟になったものは、講習会前から荷受けします。  
また、講習会後であっても、未熟なものは収穫せず、適熟になってから収穫を開始して下さい。

開催日	曜	開催時間	開催場所	担当
7月18日	火	午前 9:00	斗女神社(御厨)	佐藤
		午前11:00	西部流通センター	寺澤
			東部流通センター(荷受け場)	外谷
			今井神社(中津)	佐藤
		午後 1:30	JA川中島支所	佐藤
		午後 2:00	塩崎共選所	寺澤
東部流通センター(荷受け場)	外谷			
7月19日	水	午前 9:00	真島フルーツセンター	根津
		午前10:00	若穂営農資材センター(川田)	松沢
		午前10:30	松代総合センター	松橋
		午前11:00	若穂果実流通センター	松沢
		午後 1:30	稲里・平総合センター	根津
		午後 3:00	青木島支所	根津

### 《栽培に関する問合せ》

寺澤 (篠ノ井西部・信田) : 080-1188-5229 / 外谷 (篠ノ井東部) : 080-8048-6602

松橋 (松代) : 090-4816-6297 / 佐藤 (川中島) : 090-7179-9866

根津 (更北) 080-1203-8576

松澤 (若穂) 080-1191-5166 ※諸事情により、今後は松沢センター所長が指導対応致します。

吉澤 (全域・編集担当) : 090-2543-0365 / 営農販売部 (本所) : 292-0930

### ○果樹のアドバイザー (流通センター長兼務)

※センター繁忙期になるため、電話をとれない場合がありますが、ご了承下さい。

伊藤 (篠ノ井東部) 080-2239-6816 / 松坂 (篠ノ井西部) 080-1188-413

《販売に関する問合せ》各流通センター・共選所 / 営農販売部 (本所) : 292-0930

《資材に関する問合せ》各JAファーム・営農資材センター・経済部 / 農業資材課 : 299-3311